

# 共につくる喜び

代田中学校  
令和5年5月

## 野外活動（2年）

5月10日（水）・11日（木）、2年生が美浜自然の家へ出かけました。海が見えたとき、私が乗っていたバスの中では歓声が上がりました。美浜自然の家の門をくぐると、拍手が起こり、2年生の期待の大きさを感じました。

1日目は、入所式のあと、ウォークラリーを行いました。班ごとに地図を見ながら、自然の家の周りを歩きました。いくつかのチェックポイントでは先生からお題が出され、それらをクリアしないと、2日目の飯盒炊飯のカレーの食材がもらえないという試練を乗り越えながらのウォークラリーでした。迷いに迷ったチームも、時間内には到着できました。途中起こったトラブルさえも「楽しかったあ」と報告してくれる人がたくさんいました。

夕食後は、講堂でキャンドルサービスを行いました。1本のローソクから、係の人に火をつけて、中央のキャンドル台のローソクにともしました。はじめに、クラス対抗で輪くぐりを行いました。そのあと、有志による出し物が舞台上で披露されました。最後には、今年もマイムマイムを踊り、盛り上がりました。



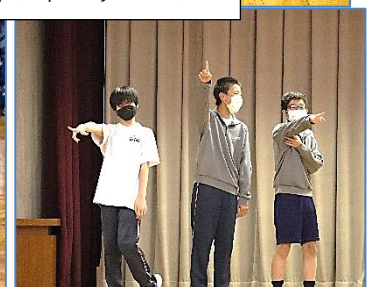
入所式



ウォークラリー



キャンドルサービス



# スローガン Enjoy&smile ～同心協力～



朝食



2日目は、朝食後、地引網体験をしました。はじめに、漁師さんから注意事項を聞きました。その後、沖にいる船から出ている二本の綱を、二手に分かれてみんなで引きました。海に入っている人もいて、冷たい水の感触を楽しんでいるようでした。ゆっくり船が近づいてきて、網も狭まってきましたが、海藻がどっさり入っていて、何も見えません。漁師さんが網の中から魚を取り出すと、黒鯛やイカ、カレイなどが入っていたことがわかりました。



地引網体験



地引網の後は、飯盒炊飯です。カレー班と、魚班に分かれて作業にとりかかりました。魚班は、担当の方からさばき方のレクチャーを受け、それぞれで魚を選び、2枚におろし始めました。はじめは、「骨が硬くて切れない」「うろこがきれいに取れない」などと戸惑った様子でしたが、何匹もさばくうちに、短い時間できれいな切り身にしていくようになりました。

カレー班は、火おこしに苦戦しました。なかなか火がつかず、時間ばかりが過ぎていきます。このままでは、食べずに帰らなくてはいけないのかと心配されるほどでした。それでも、どの班もおいしいカレーができあがりました。おろした魚も焼いて味わえました。

今年の野外活動も、2年生のいいところをたくさん発見することができました。「楽しむところは思いきり楽しむ、話を聞くとときはすぐ静かになる」そういうことができる学年です。トラブルさえも楽しもう、そういうところも頼もしく感じました。また、困っている友達がいたら、すぐ声をかけたり、助けたりすることができます。すすんで仕事を引き受ける人もたくさんいました。誰かが楽しい野外活動をようい用意してくれたわけではありません。2年生みんなで野外活動を協力してつくりあげていきました。だからこそ、スローガンを達成できたのだと思います。



魚をさばく



飯盒炊飯

